

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	応用登はん訓練中の事故
3. 体験した事例の中心的要素	登はん中、登はん者の握力が低下し、足がロックされたまま、体が下がり(数十センチ位)膝を負傷した。確保ロープは張っていた。
4. 体験した事例の原因・理由	訓練者は、今回初めての訓練で技術・体力面において未熟であった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成21年8月7日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：屋外訓練施設
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(大会に向けた)]
8. (7の活動中)どのような作業 中に発生したか	登はん訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[25]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [その他:登はん者]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [その他:確保者]
○当事者C	年齢[44]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [その他:安全管理者]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D(28才 勤続・現場経験5年 消防副士長 初めて 確保員) 当事者E(29才 勤続・現場経験5年 消防士 初めて 確保員)

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A B C D E	訓練開始	
経過2	A	膝を負傷	
経過3	A	「確保」と呼称した。	
経過4	B D E	確保し、Aを降下させた。	
経過5	C	Aに負傷した部位(膝)を確認した。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かつた。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかつた。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた(適切な指示を与えられなかつた)。

・活動指示が得られなかつた。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

隊員の能力に応じた訓練の実施。全国消防救助技術大会実施要領を再度確認をした。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

応用登はん訓練

平成21年8月7日（金）15時頃

